

MedXML最先端セミナー 「アーキタイプ技術(openEHR)とその背景」

日時:2008年5月20日(火)午後1時~5時

場所:IBMビジネスコンサルティングサービス株式会社 セミナールームArena
〒100-6318 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング18階

Tel: 03-6250-8500 (代)

JR線・東京駅丸の内南口より徒歩1分、東京メトロ丸の内線・東京駅より地下道直結、
東京メトロ千代田線・二重橋前駅7番出口より徒歩2分、都営地下鉄三田線・大手町駅D1出口より徒歩3分

案内図:URL:http://www-06.ibm.com/services/bcs/jp/aboutus/map_bcstyo.html

「アーキタイプ技術(openEHR)とその背景」

欧州を中心に開発されてきた生涯型電子健康記録(EHR)技術を背景とした標準規格CEN13606が2008年1月にISOTC225委員会で承認された。日本においても新時代の医療情報基盤としてEHR構築への機運が高まっているが、まだ十分な理解が進んでいるとは言えない状況である。

そこで、本セミナーではCEN13606の背景となる実装をオープンソースソフトウェアとして提供しているopenEHRプロジェクトの中核を担う企業であるOcean Informatics社(オーストラリア)から演者を招き、CEN13606の特徴であるアーキタイプ技術について解説する。アーキタイプ技術により実現したオーストラリアGEHRプロジェクト、臨床モデルの開発プロセス、用語体系の整備、相互可用性の実現について紹介する。

【参加費】 MedXMLコンソーシアム会員(H20年度会員対象):10,000円
MedXMLコンソーシアム非会員:30,000円 (資料代込)

【お申し込み】 お申し込み期限:5月15日

事前お申し込みをお願い致します。下記URLよりお申し込みの上、参加費をお振込ください。

URL: <http://www.knt.co.jp/ec/2008/xml/>

●医療情報技師更新ポイント

本セミナーは医療情報技師更新ポイント(1点)が付与されます。

当日、受付にて認定証(カード)をご呈示ください。お忘れになりますと対応できませんのでご注意ください。

なお、本セミナーとほぼ同じ内容の講演と議論が、京都で開催される
Seagaia Meeting2008(5月23日金)にも予定されています。
理解を深めるためにどちらも参加されることをお勧めします。
本セミナーでは、通訳を入れます。質問など日本語でお気軽にご発言ください。
Seagaia Meeting 2008の情報は <http://www.seagaia.org/>

主催: MedXMLコンソーシアム 共催: 日本医療ネットワーク協会
協賛: 医療オープンソースソフトウェア協議会
後援: 日本医療情報学会関西支部、関西医療情報処理懇談会(KMI)